

酒田市への「庄内における世界天文年」の実行委員会組織化依頼

東北公益文科大学 西村まどか

平成 20 年 12 月 19 日

事業目的

世界天文年をきっかけに、酒田市、鶴岡市と協力して、天体に親しんでもらうため、イベントを開催したい。

事業内容 (案)

全て実行しなくてもよいと考えているが、本学体育館と公益ホールおよび脇の研修室 1 で、実施したい。

インターネット望遠鏡に関するシンポジウム 公益ホール, 半日 – 一日, 発表者 8 名程度

天文関係者による一般向け講演会 公益ホール, 半日, 講演者 1 名

移動式プラネタリウム体験 本学体育館 1 回 20 分程度 8 回稼動, 各回 60 名, 2 日間

インターネット望遠鏡体験 本学体育館, 2 台設置, 2 日間

天文なんでも座談会 本学研修室 1

以下に詳細を記す。

移動式プラネタリウムの開催

酒田市には常設した施設がないので、プラネタリウムのコンテンツを楽しむ機会を与えたい。

また移動式プラネタリウムそのものは、五藤光学が開発し、関係者が他にこのような例を知らない。珍しいものでもあるので、ぜひ紹介したい。

現在計画しているコンテンツは、庄内に固有の文献などを探すことで、新たな星の見方を提供するものである。コンテンツ作成は、少しずつ進めている。

インターネット望遠鏡

インターネット望遠鏡は、慶應大学と五藤光学で開発を行った。インターネット望遠鏡は、サイトにアクセスすることによって、夜空が昼間でも見ることができるというものである。もともと文系のための自然科学教育のために開発されたが、誰にでもどこでも夜空を提供できるというものであるため、昼間でも天体観測に使えるというメリットがあり、学校教育等に利用してもらうなど、さまざまな利用方法が考えられる。

このイベントを通して、インターネット望遠鏡を知ってもらい、天文学などの自然科学への入口を提供したい。

シンポジウム

シンポジウムではすでに先行して行われている、インターネット望遠鏡の事例について発表し、教育関係者にインターネット望遠鏡を使用した理科教材のヒントを提供したい。

インターネット望遠鏡体験

実際に動かすことによって、月の写真や土星などを観察し、天体そのものへの関心や、時差などの地理的要素、インターネットのしくみなど、子どもから一般に向けて、関心を持ってもらうためのものである。

天文関係者による一般向け講演会

天文の魅力をやさしく解説してもらうために実施する。

天文なんでも座談会

天文なんでも座談会については、プラネタリウムのコンテンツ作成、あるいはインターネット望遠鏡体験において、いろいろと調査したことなどをポスター掲示し、学生などを解説員として一般の人の疑問に答えるコーナーとしたい。

酒田市にお願いしたいこと

主に教育関係者の紹介をお願いしたい。とくに以下 2 つのイベントについて。

インターネット望遠鏡のシンポジウム

インターネット望遠鏡のシンポジウムに、酒田の教育関係者で興味がある方に先行して実施してもらい、発表していただければと思い、興味のありそうな方に声をかけていただきたい。

おそらく総合学習の時間などで、理科や情報、地理などが関係するものになると思われ、自由に内容を発表してもらって構わないと考えている。

使い方に関しては、時間の空いているときに直接訪問するか、あるいは本学で講習会を実施してもよいと考えている。鶴岡市より、雪解け後、という話があるので、来年度からでもよいかどうか。

プラネタリウムのコンテンツ作成

プラネタリウムのコンテンツ作成において、

- 北前船
- 庄内の昔話

を調査し、星に関係する事例を調査中である。もし、これらのどちらかの文献に詳しい教育関係者の方がおられたら、紹介していただきたい。

また、何度か光丘文庫にアクセスしたく、電子メール等で連絡したが、回答がない。できれば古文書の撮影なども行い、歴史の点からも興味あるものにしたい、どのように手を踏めばよい、教えていただきたい。